

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人
ぎふ福祉サービス利用者センタービーすけっと

②事業者情報

名 称：社会福祉法人 和光会 加納西認定こども園	種別：幼保連携型認定こども園
代表者氏名：園長 伊 藤 洋 子	定員（利用人数）： 105名（117名）
所 在 地：岐阜市加納神明町4丁目12	TEL 058-213-0013

③総 評

◇特に評価の高い点

公立保育園から平成21年4月に民営化された園としての運営、そして平成28年4月から幼保連携型認定こども園として岐阜市で初めてのスタートとなった。民営化された約2年間は保護者の理解を得るのに苦労されたが、認定こども園への移行は、それまでの園長と職員の努力の積み重ねがあったことで順調に行われ、幼稚園と保育園の良さを取り入れた内容が着実に実践されている園である。

絵画・体操・ダンス・英語・サッカーなどの外部専門講師の指導で、子どもの能力や興味を引き出す知育活動や、バイオリンやフルート演奏、茶道体験、力士とのふれあいなどで本物に触れる機会や、美術館、科学館、河川緑地、城址公園などへ行く園外活動が多く用意され物的環境と人的環境を融合させ、子どもの主体性を伸ばす保育が行われている。

また、木育教室では「作ることの楽しさ」「工夫して遊ぶ」「命（ヒト・モノ・コト）を大切にしている気持ち」を学び、絵本の読み聞かせや園庭に植えられている四季折々に咲く花や果実を楽しむなど、心豊かに育つための多彩なプログラムは理念の実践となっている。

園長をはじめ職員が、送迎時に明るく挨拶を交わし、常に保護者や園児とのコミュニケーションを大切にしている姿勢は、保護者の安心感や信頼関係につながり、子どもの成長を喜ぶ声や感謝の内容が保護者アンケートから読み取ることができ、保護者の満足度は高い。

法人としてモンテッソーリ教育を取り入れた園を目指す方向で動き出し、これまでの保育

の取組と新しく導入した取組について、園長は、職員の戸惑いを受け止め、自ら学ぶことで、これまで職員に指導してきた保育姿勢の中にモンテソーリ教育との共通点を見出し、職員が新しい取組に向き合えるよう研修会の場を設け、職員教育に尽力している。

職員の業務改善に向けて、来年度から指導計画や園児の発達記録、健康管理簿等の電子化を導入し、事務作業の効率化で、職員研修の充実や保育の質の向上をめざしている。その実現に期待したい。

◇改善を求められる点

園内の大きなボードに特色ある保育・教育内容が、分かりやすく写真やイラストで紹介されている。毎月、内容を変えて掲示されているが、玄関先から中に入らないと目につかない場所にあり、残念である。限られた玄関スペースではあるが、より多くの保護者等への掲示板となるための工夫に期待したい。

駐車場の整備を望む声が保護者等から上がってきている。園もそうした意見を承知しており対応に尽くしているが、整備の限界事情と対応を繰り返し説明し、保護者の理解を得られたい。保護者の意見要望に対して、個々に対応することも必要であるが、運営に関する内容は保護者全体に伝えるしくみがあるとよい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１ 理念・基本方針

Ⅰ－１－（１） 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ－１－（１）－① 理念が明文化されている。	A
	Ⅰ－１－（１）－② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
良い点／工夫されている点： 保育園から認定こども園に移行し、理念も認定こども園としてふさわしい文言を新たに構築し「一人ひとりを大切にし、生きる力を育みます。」「地域に根ざし、子育て支援の拠点を目指します。」「意欲と知恵と工夫により、子どもの幸せを実現します。」が明文化されている。 基本方針は「五感を刺激する豊かな環境をつくり、一人ひとりを大切に子どもの生きる力を育む。」「地域の人や多世代との交流を通じ、基本的な生活習慣や態度を学び、思いやりの心、感謝の心を育てる。」「創意工夫により教育・保育をすすめ、子ども・保護者・地域に信頼されるよう努める。」「地域に根ざした子育て支援を展開する。」と、明文化されている。 認定こども園として、今、社会から求められていることを的確に反映した内容になっている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ－１－（２） 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ－１－（２）－① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A
	Ⅰ－１－（２）－② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	A
良い点／工夫されている点： 年度始めの職員会議で理念や基本方針の文書を配布し、周知させている。日頃の実践を理念や基本方針と照らし合わせながら職員と確認している。 職員一人ひとりが携帯している名札の裏には理念の記載があり、常に意識して仕事をする姿勢にある。 利用者向けのパンフレットや園だよりには、理念・基本方針が明確で見やすいものになっている。保護者へは入園式に説明し周知を図っており、行事等の参観時にも園の方針を説明する機会としている。 ホームページには、園の理念に結び付いた保育・教育支援内容の実践が紹介されており、時代に合った情報発信を有効に取り入れている。		

改善できる点／改善方法：

Ⅰ－２ 事業計画の策定

Ⅰ－２－（１） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	Ⅰ－２－（１）－① 中・長期計画が策定されている。	A
	Ⅰ－２－（１）－② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A
良い点／工夫されている点： 理念・基本方針に沿った中長期計画になっており、未満時保育のニーズの高まりや、待機児童解消や延長保育、一時保育等さまざまな保育形態のニーズを受け、認定こども園として出来る限りの事業展開を目指した計画を策定している。それに見合った収支計画等は法人本部が担っており、組織としての運営が行われている。 年度ごとに策定されている事業計画は、教育・保育方針を明確し、年齢別、発達レベルに応じた目標が設定されている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ－２－（２） 事業計画が適切に策定されている。		
	Ⅰ－２－（２）－① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A
	Ⅰ－２－（２）－② 事業計画が職員に周知されている。	A
	Ⅰ－２－（２）－③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A
良い点／工夫されている点： 職員会議の場で、職員の意見を吸い上げながら事業計画の素案を作成し、法人本部の子育て事業部と検討して組織的に事業計画を作成している。職員会議や未満時会、以上児会、園内研修等の場で職員周知を図っている。会議記録の回覧でのフォローもしている。保護者等には、重要事項説明書とともに、事業計画も配布し周知を図っている。園だより等にも分かりやすい内容で知らせるなど、周知方法を工夫している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ－３ 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A
良い点／工夫されている点： 役割や責任を明確にした職務分担表がある。職員には職員会議や園内研修等の機会を利用して園の運営姿勢を伝えている。園長研修や管理者研修等に出席し、遵守すべき法令等の把握に努め、職員への周知を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	A
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	A
良い点／工夫されている点： 定期的に、職員の取組に対して評価分析を行い、法人独自のE-WORK評価につなげている。職員の前向きな取組や質の向上がみられる取組には、会議の場で称賛し、職員が意欲を持って仕事に向き合うことが出来るように後押しをしている。法人として導入したモンテッソーリ教育を園長自ら研修し、これまでの保育内容の違いをひも解き、職員が理解できるよう園内研修を重ねている。 法人本部に人事部、財務経理課、労務管理課などが設置され、組織で動いており業務の連携を図っている。次年度はチャイルドケアウェブの情報ソフトを導入し、指導計画、発達記録等の作業の電子化で業務の効率化をめざしている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A

Ⅱ－１－（１）－② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	A
Ⅱ－１－（１）－③ 外部監査が実施されている。	A
良い点／工夫されている点： 行政関係機関や私立保育園連盟、民間市場などからの情報や、地域のニーズや動向を積極的に把握している。園児数とそれに伴うコストバランスを常に意識し、法人組織として経営分析をしている。行政監査や法人の内部監査と公認会計士による定期受審が実施され「指摘事項なし」の評価を得ている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A
Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A
良い点／工夫されている点： 在園児の適切な人員配置や、一時保育事業、子育て支援等に必要な職員配置となっている。パート職も含めて全職員が有資格者であり、保育の質を担保するためにもフリーの保育士２名を置いている。法人の E-WORK に基づき、自己評価を行い、管理者層２名のダブル評価で人事考課が行われている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A
良い点／工夫されている点 フリーの職員が配置され、クラス担当職員は休暇が取りやすい体制になっている。時間外勤務は極力減らし、持ち帰り業務もない。法人の全職員対象にストレスチェックが実施され、悩み相談窓口もある。職員の福利厚生としての研修旅行、誕生日祝い金、親睦会、定期健康診断等が実施されている。	

改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
	Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	A
	Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A
良い点／工夫されている点： 法人本部に育成研修課が設けられており、職員の教育体制は充実している。園内研修は毎年テーマを決めて取組み、基本方針にも掲げている。 キャリアパス制度を導入し、職員個々のレベルに合った研修を受講し段階的にレベルアップする研修体制になっている。 外部研修参加者は、受講後報告レポートを提出し、その内容は園長が評価をしている。また、伝達講習の機会も設けている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	A
良い点／工夫されている点： 実習生受け入れマニュアルが整備され、全職員が周知している。担当窓口を設置し、養成校の実習指導者研修会に出席し適切な実習内容で行われている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
	Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
	Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	A
	Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A

良い点／工夫されている点： 各種緊急時マニュアルや安全管理マニュアルが整備され、責任と役割を明確にした対応体制にある。ヒヤリハットは些細な事例も挙げ、職員間で話し合いを行い確かな改善へとつなげている。事故防止のチェックリストもある。保護者に対する緊急時の情報提供は、メール連絡で迅速な対応をしている。災害訓練は定期的実施され、備蓄リストには乳幼児に必要な用品を挙げ法人が管理している。
改善できる点／改善方法：

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	A
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A
良い点／工夫されている点： 園長が校区小学校の運営委員を担っており、連携と交流が活発に行われている。また、年長クラスが高校音楽科文化祭に招待されたり、学生が夏休みのボランティアに来ている。 園庭開放、子育て支援、一時預かり保育、出前講座等、園が持つ機能を積極的に還元している。近隣公民館の和室でのお茶会、絵本の読み聞かせ、園の畑作業、バイオリンやフルート演奏等、園児が本物に触れる体験に多くのボランティアの協力があり、ボランティア受入れマニュアルも整備されている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ－４－（２）－①	必要な社会資源を明確にしている。	A
Ⅱ－４－（２）－②	関係機関との連携が適切に行われている。	A
良い点／工夫されている点： 地域の社会資源を積極的に活用し、地域に根ざしたこども園の運営に努めている。障害や特定疾患を持っていても、どの子も受け入れ体制で臨み、卒園時には次の受け入れ先や小学校と連携を図りつなげている。保護者の悩みを丁寧に聴き、関係機関の情報を提供している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	A
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A
良い点／工夫されている点： 法人が児童センターの運営もしており、地域の福祉ニーズの情報を園の運営に活かしている。行事毎に保護者アンケートを行い、その声を運営に反映させている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A
良い点／工夫されている点： 子どもの人権や主体性を尊重した取組が事業計画等に明文化されている。作成された事業計画が全職員に周知され、地域住民や多世代の交流のなかで、子どもが基本的な生活習慣や思いやりのある心、感謝の気持ちをはぐくむ細やかな保育を行っている。 プライバシー保護についてはマニュアルが整備され、見直しも行われている。個人情報の取り扱い、個別相談、手紙、文書については特に配慮するよう職員に徹底させている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	A
良い点／工夫されている点： 園の行事、個別懇談、クラス懇談会などの機会を利用して保護者の意向把握に努めている。行事終了後にはアンケートを実施し、保護者からの意見や要望を運営に反映させている。クラスごとの参観日程の設定は、兄弟姉妹の在園児を持つ親から好評である。		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A
良い点／工夫されている点： 送迎時は、園長始め、全職員が挨拶で迎え、担任職員にこだわることなくどの職員も気軽に保護者等に声掛けし、話しやすい雰囲気ができている。「園だより」で保護者からの気づきや意見等をいつでも受け付けている旨を案内している。担任が受けた相談を園長へと引き継ぎ、相談室での個別対応で相談者と真摯に向き合っている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	A
良い点／工夫されている点： 各職員が日頃の業務の自己評価を行い、職員会議で意見交換をして第三者評価に取組み今回の受審が２回目である。地域に根ざした子育て支援と、子どもの主体性や自主性を尊重し、子どもが自分で考える力を育てる保育・教育で、サービスの質の確保を実践している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
-----------------------------------	---------

	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A
良い点／工夫されている点： 運営に必要なマニュアルを作成し、職員への周知徹底に努め、保育・教育指針に沿った計画を基に実践している。茶道・英語・ダンス・体操等、外部専門講師の指導によるプログラムが用意されており、子どもの持つ力を伸ばしサービスの質の向上につなげている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	A
	Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A
	Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A
良い点／工夫されている点： 個別記録に子ども一人ひとりの発達状況や日常生活実態を詳細に記録し、評価、課題を職員間で分析し、翌月の計画につなげている。マニュアルに基づき、記録の保管、保存、廃棄が行われている。記録は職員回覧し、参加できない職員にも情報が行きわたり、全職員が同じスタンスで取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A
良い点／工夫されている点： 園の理念、基本方針、概要、特色は、分かり易くホームページ、パンフレットで提供されている。入園予定の保護者には重要事項説明書を配布し、詳細な説明と健康診断の提出を求め、適切な手続きを行っている。		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A
良い点／工夫されている点： 転園の時は、当園での記録を転園先に送り、双方で連携を図り、保護者や子どもが安心して転園できるようにつなげている。サービス変更についても、保護者に丁寧に説明し理解を得ながら行っている。入学する小学校には保育児童記録を提供し、園児が就学時に支障ないよう情報を共有し連携体制にある。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A
良い点／工夫されている点： 利用者アセスメントは、岐阜市に準じた様式を利用し個別記録を作成している。規定の手順でアセスメントを行い、園での生活、保護者の思いや家庭での様子を連絡帳に記載し、双方での情報交換の内容や、送迎時の会話で得た情報をアセスメントに活かしている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	A
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A
良い点／工夫されている点： 子どもの生活や学びを通じて「学びの芽」「人に拘わる力」「生活する力」大切にしたいサービス実施計画が作成されている。モンテッソーリ教育を取り入れた保育・教育は職員への研修を重ね、保護者等の理解への取組を実践中である。		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)

(別紙)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本
Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	A
良い点／工夫されている点： 園の理念を土台した「木育、知育、食育」を柱に、養護と教育の一体的展開に取り組んでいる。外部の専門講師をよる英語、絵、茶道、ダンス等の取り組みや、地域の住民との交流などに積極的に取り組み、地域に根ざした子育て支援を展開している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
良い点／工夫されている点： 乳児室の適切な室温の管理や、オムツや汚物等の衛生環境が適切であり、個々に合わせた衣類の調節、健康状態の確認などきめ細やかな保育が行われている。その日に把握した健康状態や行動の様子を連絡帳に記載し、迎え時に保護者に伝え職員間でも共有している。モンテッソーリの教育を取り入れた玩具や、小物入れなど子どもの発達段階に合わせた環境が整っている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
良い点／工夫されている点： 園での生活と家庭での生活の様子について、保護者と常に連携し、双方が同じ思いで子どもの成長に合わせた保育と教育の環境を築いている。連絡帳のやり取りや、送迎時は保護者とコミュニケーションを図る大切な機会であることを職員一人ひとりが認識し、職員は子どもの要求や思いを受け止め、ゆとりある対応を心がけ子どもに向き合っている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
良い点／工夫されている点： 「学ぶ・人との関わり・生活する力」の教育・保育要領を基に各年齢の、指導計画を作成し実践している。森林の多い県の特徴を活かし「木育」に力を入れ、五感を刺激する豊かな環境を作り、子どもに生きる力を育む取り組みを行っている。 モンテッソーリ教育の考え方を取り入れた保育・教育の導入は、保護者の理解が進み期待の声もある。	

改善できる点／改善方法：	
IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。	A
良い点／工夫されている点： 岐阜市が策定した「接続カリキュラム」「スタートカリキュラム」「アプローチカリキュラム」を基に、小学校教育を見通した指導計画を作成し取り組んでいる。園から就学をする小学校に要録を送り、連携体制を整えている。 校区内にある小学校とは、学校の調理室を借りキッズキッチンの体験や、運動会を見学するなどの交流が継続して行われている。	
改善できる点／改善方法：	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： 住宅地の一角に位置し、周辺に高い建物がなく、園庭は陽当たりが良い。室内には、エアコン、加湿器等が置かれ健康に配慮した環境が整備されている。年齢に応じた手作り玩具や、モンテッソーリ教育の考え方を導入した教材が整っている。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： 低年齢児の持ち物には、各自の決められた絵マークが付いており、日々、自分の物は自分で整理し管理することが当たり前になっている。生活面での約束を「元気っ子の会」の集会で子どもが理解できるように伝え、基本的な生活習慣が身につく取組みを行っている。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： 年長児が行う人数確認当番、味見当番、給食当番、生き物当番等、様々な当番活動を通して、子どもの主体性を育て、友達との協働作業を学ぶ場が数多く用意されている。買い物ごっこや電車ごっこなどの遊びからも、順番を守る事、物を大切に扱う事などの社会的ルールを学ばせている。	

改善できる点／改善方法：	
IV－２－（４）子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： 通用門から玄関口までのアプローチには、実のなる木や花が絶えることなく植えられており、四季を通じ身近に自然を観察することができる環境にある。夏祭り、市民運動会、文化祭など積極的に地域行事へ参加したり、河川緑地や城址公園へ出掛けしている。近くに科学館、美術館があり、本物に触れる学びの場として活用している。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（５）子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： 絵本の読み書きを多く取り入れている。リズム遊びや表現遊びを通して、豊かな感性を育てる環境づくりにも努めている。職員は、子どもが伝えたいことや話したいことを、余裕を持って聞き答える姿勢で、子どもの気持ちを大切にしている。 法人所属の言語聴覚士による職員研修や、園児の個別対応にも多職種専門職の協力を得ている。	
改善できる点／改善方法：	

IV－３ 職員の資質向上

IV－３－（１）保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	A
良い点／工夫されている点： 年２回の人事考課を通して自己評価を行っている。自らの保育実践を振り返り、次年度に活かしている。定期的な職員会議において、各自の保育実践について意見交換をし、職員間で検討し専門性の向上に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅴ 子どもの生活と発達

V－１ 生活と発達の連続性

V－１－（１）子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	A
良い点／工夫されている点： モンテッソーリ教育、保育所保育指針、幼保連携認定こども園教育を軸としてこどもの思いや自立心をはぐぐみ、待たせたりせかしたりしないコミュニケーションを心がけ、こどもの気持ちを大切に受け止める姿勢で接している。担任の子どもだけに目を向けるのではなく、全職員が一体となって子どもと向き合っている。	

改善できる点／改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
良い点／工夫されている点： 入園時のアセスメント、入園後の園児の様子を注意深く観察し、変化を感じた時は速やかに対応している。法人所属の専門職へつないだり、行政等関係機関と連携を取りながら、子どもはもちろん保護者の支援体制もある。どの子にも同じ保育環境を提供し、その上で障害に合わせた個別指導計画を立て、根気よく見守り、子どもの成長を保護者と共有している。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
良い点／工夫されている点： 長時間保育や延長保育の子どものおやつ時間を少し変える工夫で、集中して遊べる環境を整えている。また、夕食にひびかない程度の軽食を用意している。子どもが安心感を得られる接し方や社会性が育つ保育・教育を実践し、保護者にも職員同士が連携して子どもの様子を伝えるようにしている。	
改善できる点／改善方法：	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	A
良い点／工夫されている点： 家庭医調査表から既往歴や予防接種の状況を把握し、全職員が子どもの情報を共有している。体調の良いときは状態を保護者に連絡し、様子を見ながら看護師に確認するなど柔軟に対応している。状況に応じて看護師の付き添いで受診することもあり医療の連携が適切に行われている。	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
良い点／工夫されている点： 管理栄養士を配置し、手づくりの食事が提供されている。成長に合わせた離乳食も衛生的で安心安全な環境で手作りされている。誕生日食、行事食、手作りおやつなど工夫を凝らしたものが多く、食育こだわったきめ細やかな心配りが感じられる。園庭で野菜作りを行い、給食で食したり、親子一緒に夏野菜カレーを作って食べる行事もある。	

改善できる点／改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	A
良い点／工夫されている点： 食べる量は子どもに選択させ食べ残しのない対応をしている。年長児は卒園前にテーブルマナー体験の行事もある。食べ残しを把握し、献立や食べやすい形状、調理方法を見直し改善につなげている。年長クラスには味見当番があり、自分の感じた味を言葉にしたり、食材を知る食育教育が行われている。	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
良い点／工夫されている点： 毎月「元気っ子だより」「保健だより」を発行し、連絡帳に毎月の身長、体重測定記録し、1年の成長が分かる。入園時の健康診断と年2回の内科、歯科検診、年1回の眼科、耳鼻科の検診をしている。結果は保護者に伝え、治療が必要な場合は受診を呼びかけている。	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果
	A
良い点／工夫されている点： アレルギー除去食は医師の指示書をもとにメニューを出来るだけ変えず、除去で対応している。除去が困難な時は持参してもらった弁当をトレイに移し替え、誤食が無いように職員は細心の注意を払っている。毎月メニューを確認し、保護者と連携し、他の子と違和感なく食事が出来るよう配慮している。	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	A
良い点／工夫されている点： 年1回薬剤師による点検指導と年2回管理栄養士による調理室の管理点検が行われている。給食衛生管理、給食調理、食中毒発生時の対応マニュアルに基づき調理を行い、毎月職員の検便も実施されている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援 VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A
良い点／工夫されている点： 給食やおやつの展示をしたり、献立の食材産地を知らせ、家庭でのメニューの重なりを避ける工夫をしている。未満児は連絡帳に家庭での食事内容を記載してもらい子どもの食生活を知る情報の一つになっている。給食日より人気メニューのレシピを載せているが、保護者が給食室に聞きに来ることもある。食事の様子をビデオにし保護者に観てもらい子どもの成長をみえる形で伝えている。園庭の畑で収穫した野菜を使った給食で子どもが偏食を克服した事例は食育の実践である。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	A
良い点／工夫されている点： 送迎時の声かけ、連絡帳のやりとり、日常的な情報交換に加え、個別懇談時などで保護者と信頼関係を構築している。参観時にアンケートを取り、思いや意向の把握している。こどもの様子や保護者の思いを真摯に受け止めその後の指導計画へ反映させたり、保護者からの相談は担任や園長が速やかに対応している。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	A
良い点／工夫されている点： 保育参観、運動会、プール参観、英語教室、ダンス教室、木育教室さまざまな行事を通して園の基本方針の共通理解が得られる機会としている。誕生会にはその月の子どもの保護者も招待し一緒に成長を祝っている。未満児クラスでは日頃の様子をビデオに納め、参観日に視聴し、発達に応じた保育について意見交換がなされている。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	A
良い点／工夫されている点： 虐待の事例や、疑わしい家庭はこれまでにないが、連日同じ服装で登園していたり、持ち物や、忘れ物など毎日チェックするようにしている。マニュアルに基づく職員の対応と、連携等体制は整っている。また子どもの環境の変化や心身や精神面、生活面の状態に注意深く観察している。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	A
良い点／工夫されている点： 不審な侵入者の対応避難訓練は毎月行っている。加納西区域の不審者情報は保護者にメール配信をし玄関先に張り出して注意を喚起している。自治会や老人会の地域住民による見守りやボランティアなどの協力も確保されている。施錠の環境が整っているが園庭開放日は職員が意識して巡視している。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	A
良い点／工夫されている点： 年間行事予定の配布と毎月の園だよりやクラスだよりで、保育参観、懇談会等の参加を呼び掛けている。行事の写真を掲示したり、子どもの様子を伝えるなど参加できなかった保護者へのフォローもしている。ホームページも活用している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	A
良い点／工夫されている点： クラスごとで役員を選出し、保護者会の組織が存在している。保護者会の集まり場所に園を提供し、コミュニケーションを図っている。運動会や茶話会、謝恩会など保護者会が主体となって活動し、バイオリン、フルートのコンサート、人形劇などの文化的行事など保護者会の協力や援助は極めて大きい。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	A
良い点／工夫されている点： 園長は加納西小学校の学校運営委員の委嘱を受けており、小学校の授業参観や会議に参加し連携を図っている。また、中学校の体験学習の受け入れ、加納高校音楽科との交流もあり高校文化祭に年長クラスが毎年招待されている。	
改善できる点／改善方法：	